



今年も開催します！ 子ども図書研究室講演会

子どもと読み手をつなぐ橋であり、物語の世界へ誘う乗り物、時にはよき友人に、時に先生になる絵本。子どもから大人まで多くの人を魅了する、絵本はどのように誕生するのでしょうか。

令和5年度の子どもの図書研究室講演会では、多くの絵本の制作に携わってこられた、福音館書店編集者の寺久保未園氏を講師にお迎えします。本講演では、寺久保氏が編集を担当した絵本の紹介と共に、絵本作りのプロセスや絵本をつくる際に大切にしていることをお話しいたします。

子どもの喜ぶ絵本について考え、子どもに本を手渡す際の視点を豊かにする機会にさせていただければと思います。

◆令和5年度子ども図書研究室講演会◆

【演題】絵本作りの過程で教わったこと

【講師】寺久保 未園 氏

【日時】令和5年7月2日(日)
午後1時～3時

【会場】静岡県立中央図書館 講堂

【定員】200人(先着順 要事前申込)

【対象】15歳以上の方(中学生を除く)

【申込】ふじのくに電子申請サービス(上記の二次元コードまたは当館HPより。来館や電話による申込も可)

【電話】054-262-1246

※動画配信は行わず、集合形式のみの開催となります。



当館では、寺久保氏が編集を担当された下記作品を所蔵しています。(子ども図書研究室 ほか)

『くじらのあかちゃん おおきくなあれ』

『なきむしおばけ』 『まゆとかっぱ』

『おいしいじいさん』

『だるまちゃんとキジムナちゃん』

『だるまちゃんしんぶん』 『あいうえおみせ』

『いきものづくし ものづくし』 シリーズ

新着資料から

絵本



『あらしとわたし
しぜんのがかていきる』
ジェイン・ヨーレン/文
ハイジE.Y.ステンプル/文
評論社
2022年12月

「でんしゃみたいに とどろいて、かぜが ほえたり ふきすさぶ」竜巻の時は、地下に皆で集まって過ごす。風が止めば皆で枝を拾い、塀を直す。竜巻が止むのはいつものこと。

竜巻、ブリザード、山火事、台風の脅威のもと、人々がどう過ごし元のあたたかな生活に回復するかを子どもの視点から描く。低学年から読めるような作りだが、日本に馴染みのない災害でもニュース等で知る機会があり、内容を理解し希望を持つのは高学年からか。巻末に各気象の解説あり。【小学校高学年から】(眞子)

知識



『どうなってるの？投資のしくみ』
① 投資ってなに？
藤田 智子/監修
ユークラフト/編著
汐文社
2023年1月

投資について学ぶシリーズの第1巻。投資は将来のためにお金や力を投入することで、金融の知識や投資の仕組みの理解が不可欠である。お金の性質や投資の方法に加え、投資の種類も紹介する。上場株式に投資する株式投資。一定期間国や企業にお金を貸し出す債券投資。株式投資と債券投資を組み合わせ、投資のプロであるファンドマネージャーが代行して運用する投資信託。それぞれの投資の仕組みや利益などを解説する。投資の偉人の逸話もあり、難解な印象の投資を分かりやすく学ぶことができる。

【中学生から】(上村)

「新刊サロン」のご案内

今年も「新刊サロン」を開催します。第1回は、6月7日（水）当館にて開催いたします。

当館で開催後、前年度に引き続きYouTubeで新刊サロンを配信いたします。今後の詳細については、当館webサイトをご覧ください。



【配信期間（予定）】

令和5年6月16日（金）午前10時
～8月4日（金）

【視聴方法】

上記の二次元コードまたは当館ウェブサイトのURLをクリック

（静岡県立中央図書館公式YouTubeチャンネル）

※配信期間中、どなたでもご覧いただけます。

【今後の開催日（集合形式）】

8月5日（土）、11月1日（水）、
2月7日（水）の全4回
※当館での開催後、YouTubeにて配信します。

【お問い合わせ】静岡県立中央図書館 資料課
電話：054-262-1243 FAX：054-264-4268
webmaster@tosyokan.pref.shizuoka.jp

子ども図書研究室をご利用ください！

子ども図書研究室は、児童書、絵本及び子どもの読書に関する参考図書を置いています。児童書・絵本の選択や内容、幼児期における本の与え方の研究などにご利用いただけます。また、各地域で子どもの読書活動を推進している公立図書館、学校図書館、地域の大人の皆さんの情報交換、交流の場としてもご利用いただけます。

■場 所：静岡県立中央図書館1階

■利用対象：15歳以上の大人（中学生を除く）

■利用時間：**午前9時～午後5時（午後2時～5時は職員が在室（土日祝日を含む）。**午前9時～午後2時は、2階総合案内カウンターへの申込みで開室いたします。）

■団体利用：選書会等の会場としてご利用いただけます。時間は火～金曜日（休日除く）の午前9時～午後5時ですが、それ以外も相談に応じます。※**新型コロナウイルス感染症拡大防止のため人数制限を行っておりましたが、5月8日以降制限の解除をしました。**

■資料紹介：平成15年度以降に発行された児童書（コミック、参考書などは除く）を網羅的に収集しています。

■研究書・雑誌：子どもの本や子どもの読書に関する大人向けの図書や雑誌を収集しています。

新着資料から

読み物



『カステラアパートのざらめさん』
島村 木綿子／作
コマツ シンヤ／絵
Gakken
2022年12月

小学4年のこのみは、捨てた子猫を飼うためにお母さんと2人、外見がカステラのようなアパートに引っ越した。このみは大家の皿目さんを「ざらめさん」とよんで仲良くなる。しかし、ざらめさんは亀の千太郎を入れたかごを持ち、独り言を言いながら散歩をしたりする変わった人のため、実は魔女ではないかという噂があった。ある日、アパートに住む河田さんの猫がいなくなり、行方を追うざらめさんを追いかけたこのみは、ざらめさんの秘密を知ることになる。〈小川未明文学賞〉大賞作品。【小学校中学年から】（三枝）

読み物



『ガリバーのむすこ』
マイケル・モーパゴ／作
杉田 七重／訳
小学館
2022年12月

戦争で父を亡くし、難民として故郷アフガニスタンを飛び出したオマール。母と離れ、イギリスを目指して海に出るが、嵐でボートから投げ出されてしまう。オマールが目覚めると、そこはかつてガリバーが流れ着いた小人の国、リリパット国だった。温かく迎えられたオマールだが、リリパット国の人たちが再び戦争の危機に直面していることを知る——。オマールと小人の交流がやさしくユーモラスに描かれる。冒険譚のおもしろさを味わいながら、難民や戦争について考えさせられる。

【小学校高学年から】（山下）